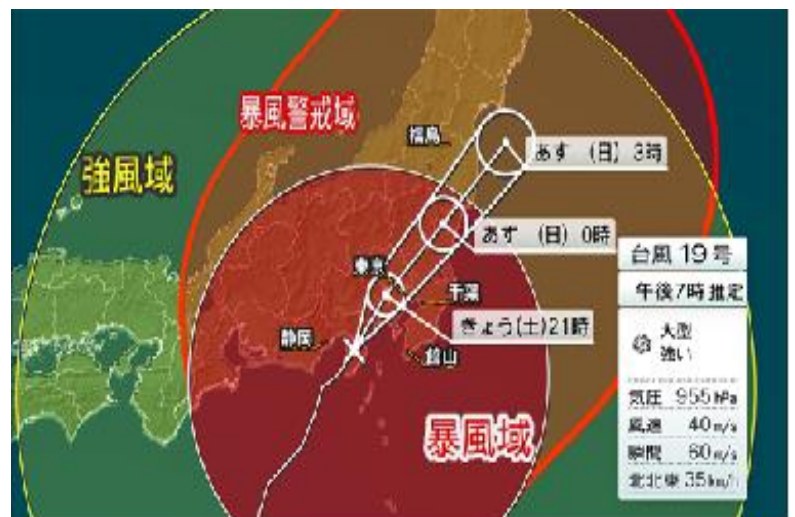


明和町始まって以来の避難指示！！

台風15号及び19号により被害に遭われたかたがたに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

近年の地球温暖化の影響で太平洋上にはたくさんの水蒸気が確認されています。これによる大型台風の発生、発達が懸念されているところです。そんな中で先月には、台風15号が千葉県に大きな爪痕を残して行きました。さらに、台風15号よりもはるかに大型で非常に強い台風19号が今月12日から13日未明にかけて明和町にも襲来いたしました。いつか来るかも知れないと覚悟しておりましたが、よりによって体育祭の予定日(13日)に来るなんてと思いました。体育祭はもちろん延期となりましたが、迫り来る台風を前にとにかく被害を最小限に食い止められればと祈るような思いでした。そして、職員とともに町民の皆様の生命財産を守るため、この事態を何とか乗り切ろうと覚悟を決めました。

そして、いよいよ12日、迫り来る大型台風職員とともに対応しました。幸い、明和町には目立った被害はなく、12日の21頃に東部地区でトランスの故障により一部停電があった、梨棚の防風ネットが飛びそうなのでく



くりつけた、電線の切断を発見し消防車が出動した、須賀地内で土手の漏水がみつきり消防団が出動したとの報告がありましたが、漏水は発見者の見間違いでありました。そして、梨の落下被害等の報告もあまりありませんでした。あの強い大型台風でも明和町は大きな被害もなく、何とか乗り切ることが出来ました。初めての避難指示でしたが、避難者の受け入れや現場確認など職員もよくやりました。

【明和町避難情報等】

10/11(金) 11:00 「台風第19号接近に関する明和町災害警戒本部」設置

10/11(金) 15:00 自主避難所(4箇所)開放

10/12(金) 14:00 「台風第19号接近に関する明和町災害対策本部」設置

10/12(土) 15:00 警戒レベル3『避難準備・高齢者等避難開始』発令

⇒町内避難所(9箇所)開放

10/12(土) 18:00 警戒レベル4『避難勧告』発令

10/12(土) 23:00 警戒レベル4『避難指示(緊急)』発令

10/13(日) 05:20 町内パトロール実施

10/13(日) 06:30 『避難指示(緊急)』解除

⇒町内避難所(9箇所)閉鎖

10/13(日) 12:30 災害対策本部解散 通常警戒へ移行

※人的被害(死者・負傷者)：無 / 床下・床上浸水：無

【避難所及び避難者数】

明和町役場 512 人、明和東小学校 474 人、明和西小学校 371 人・明和中学校 344 人、中央公民館及び社会体育館 192 人、ふれあいセンタースズカケ 51 人、同ポプラ 40 人、館林商工高校 614 人、アドバンテスト R&D センター 250 人

※ 町内避難所：9 箇所 / 避難者総数：2,848 人

※社会体育館、ふれあいセンタースズカケ及び同ポプラは一時的な臨時避難場所として解放

明和町始まって以来の避難指示に、総計2,848名(町民の4分の1)のかたが避難をしてくれました。これは近隣と比較してもとても多い割合でして、町民の皆様の防災に関する高い危機意識を感じます。さらには、初めての避難にもかかわらず、職員に協力的で大変感謝しております。

明和町は谷田川と利根川に挟まれた地形ですが、氾濫の心配の前にまずは明和町に降った雨をかき出すことが先です。明和町の内水被害をいかに無くすかが洪水防災テーマなのです！利根川は国を代表する河川ですから流下能力との勝負になりますが、明和町は降った雨を谷田川にいかに「かき出すか」がポイントです。東から千江田排水路、江口排水路、梅島排水路、矢島排水路の排水4本で明和町に降った雨を谷田川にかき出します。千江田排水路、梅島排水路、矢島排水路には排水ポンプがあり、降雨量を計算して早めに土木事務所にかき出しスタッフ(建設業者)の派遣を要請します。江口排水路は排水ポンプがないので、予めから県に設置を要望しております。しかし、排水ポンプの設置には1億円以上かかりますから、県はなかなか設置してくれません。今年度ようやく県が5千万円かけてポンプ車(ポンプ6台付きで排出量毎分30トン)を買いました。明和町は迫り来る台風に備えて、目ざ

とくポンプ車の派遣要請をして、12日夕方には江口排水路に備えました。あとは排水ポンプの能力をフル稼働して自然流下と人工流下を併用して明和町に降った雨を谷田川にいかに排出するかです！各排水機場を巡回して業者職員を激励して様子を聞いて回ります。やがて、土木事務所から須賀と斗合田の排水機場(谷田川から利根川へ排水する施設)を回し始めたことを確認して後は利根川の自然流下・流下能力に期待するわけです。

その利根川についてですが、皆様も大変心配されたと思います。今回の台風においての利根川の状況を段階的に申し上げますと、12日の22時に「利根川上流河川事務所」から電話があり「利根川の水位上昇が激しいから何時、谷田川の排水機場を停止するかわからない」と言われました。谷田川から利根川への流す排水機場を止められては、明和町に内水被害がでます。



ここから我々政治家と国の官僚や県職員との駆け引きが始まります。実際の状況を読み込みながら内水被害を出さない様にして利根川の流下に期待するよう駆け引きをします。

←13日朝の利根川の状況(土手まで3m) 大輪地先

やがて23時頃、利根川上流事務所より「このままだと北川辺が午前3時に越水を起こすから避難指示を出してください！」と脅かされます。この時点では谷田川の排水機場はまだ止めておりません(結局最後まで止めませんでした)。八斗島観測所・川俣観測所は一進一退です。渡良瀬川の足利観測所

も藤岡観測所も一進一退です。利根川上流河川事務所の指示後、より北川辺町(加須市)に近い板倉町が避難指示(緊急)を出しました。雨雲レーダーによれば、雨はもうすぐ止みます。しかし、明和町も「もしも」に備えて避難指示(緊急)を23時に出しました。レーダーどおり雨は23時を境にやみました。やがて水位は八斗島観測所も川俣観測所も栗橋観測所も下がり始めます。午前3時に利根川上流河川事務所に電話をすると「今度は栗橋が切れる」と混乱しています。その混乱した様子から正確な情報が掴めていないなと思いました。台風の影響によりインターネットが繋がりにくい時間帯が多々あったことから、「通信障害」により指示系統が正常に作動していないようでした。このような状況なため、北川辺町と板倉町では避難車両でごったがえしており、三国橋と埼玉大橋は避難車両で渋滞しているというのです。それを受け、明和町においても東北自動車道東側の斗合田・下江黒地区については、真夜中ではあるが避難をさせようと消防署長及び消防団長と相談をして、午前3時過ぎから消防団車両6台と役場広報車2台で斗合田及び下江黒地区の一軒一軒を回り、緊急避難を促しました。やがて午前6時頃になると、栗橋観測所水位は依然として危険水位ですが、確実にピークよりも30センチ下がりました。その他の利根川・渡良瀬川上流の全て観測所の水位も、のきなみ下がっています。それらを踏まえて、千代田町が先に避難解除、続いて明和町と板倉町が6時30分に避難解除いたしました。こうして当町は洪水を免れることができ、一安心したわけです。本当に助かりました。

今回助かった要因は2つあります。1つは利根川上流に降った雨、特に吾妻地方の雨を、完成したばかりでほとんど水の無かった八ッ場ダムが吸収してくれたこと。八ッ場ダムは一晩で満水状態です。水位が50メートルも上

昇しました。もう1つは、台風の外側に入ったことで雨、風ともに東側よりも弱かったという幸運にも恵まれました。町民の皆様も避難という経験はしたくないと思いますが、この経験を踏まえさらに災害に強い町をつくって行くことにご協力いただければと思います。今後の皆様のご支援とご理解をお願い申し上げます。

12日から13日にかけては全職員を招集して避難所の運営から内水被害の処理、風害対応、凄まじい状況下での的確なる処理を求められる場面も多々ありましたが、なんといっても被害がなくて良かったと胸を撫で下ろしております。本当に明和町が、そして利根川と谷田川が無事で何よりでした。今回の町民の皆様のご協力と災害防止協力関係者、そして、避難所として場所を提供してくださった(株)アドバンテスト群馬 R&D センタ及び県立館林商工高等学校の関係者のかたがた全てに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

令和元年10月25日

明和町長 富塚もとすけ